

佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 佐賀市嘉瀬町大字扇町 2398-1 2F
団 体 名 一社) 地域活性化いじめ撲滅実行委員会
代表者職・氏名 代表理事 古場 英樹

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和2年5月6日付け県協第276号、令和2年8月17日付け県協第938号、令和2年11月6日付け県協第1470号及び令和3年2月2日付け県協第2031号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

2020年度寄附金活用実績報告書

事業名	いじめをテーマにした道徳の出張授業及び個別相談
寄附受入額	7,167,920円
事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>・小学校での出張道徳授業・講演</p> <p>1学期予定されていた24回の出張授業は、新型コロナ感染防止により4月20日から学校が休校となり5月半ばまで続いたことで他の授業との関連で中止になった。代わりに朝の挨拶運動を当団体のプロレスラー将火怒(まさかど)が8校行った。秋から出張授業を再開し、元小学校校長の経歴を持つ村岡智彦氏が11月～3月まで15回(うち保護者、地域の大人向け2回)行った。新型コロナが長引くことで社会的に不安定な状況が続き、子どもたちへの影響が深く、いじめについてより一層関心を持つ人が増えた。世の中の情勢を踏まえいじめの相談件数は激増している。ある一方で、相談しようという一歩が踏み出せるようになってきたことは、相談しづらい環境からきっかけをつかむ機会が身近にあるということが認知されてきたと思われる。各機関との連携で様々な環境の子どもと親御さんのケアに結びついている。</p> <p>佐賀市のイベントが中止になった代わりに、嘉瀬小学校の6年生と卒業記念の楽曲作制を行った。地域に長く愛される嘉瀬町の曲作りということで、子どもたちが嘉瀬町の特徴や思いを詩にして、プロのミュージシャンに曲をつけてもらい、卒業式には「かせのたからもの」は初お披露目となった。みんなで協力してアイデアから形になる経験は貴重であり、子どもたちも積極的に参加してくれた。CDにして全校生徒にお渡しすることができた。</p> <p>・いじめ、不登校、引きこもりに関する個別相談</p> <p>今年度は52件の個別相談を行った。教育委員会や学校と連携し、相談者の9割が不登校やいじめの問題を解決できた。</p> <p>また、不登校児施設「くすの実」にて勉強の機会を与えていただいた。直接子どもたちとの会話や行動等から子どものおかれている環境を再認識した。</p>	
事業実施の成果・効果(見込み)	
<p>今年度は新型コロナの影響からか、「学校に行きたくない」という訴えより「自死」に考えが及ぶケースが多く、また低年齢化している。子どもたちのより深刻さを増すような考え方の傾向を受け、いじめに重点を置きつつも「命」について深く理解してもらえるようシフトした。新型コロナによって出張授業やイベントが中止・延期になったことで、昨年度より多くの個別相談ができた。子どもたちの話を聞く時間をより多く設けることができ、結果52件の相談のうち、46件の相談者に改善が見られ日常を取り戻した。このことは団体にとって大きな喜びであり、事業継続の自信につながった。嘉瀬小学校においては授業を通して、新型コロナにより様々な制約がある生活の中で一緒に思い出を作ることができた。卒業を迎える個別相談の不登校の子どもたちは全員、卒業式に出席することができた。</p> <p>作成したCDはラジオ、YouTubeなどでも聞くことができ、帰省がなかなかできない嘉瀬出身の方々にも「懐かしい」「帰れずホームシックだったけど元気になった」等、活動が思わぬところで喜ばれた。</p>	

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		いじめをテーマにした道徳の出張授業及び個別相談	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	7,167,920	
	福祉活動組合基金 助成金	188,760	一般社団法人 グリーンコープ生協さが
	新型コロナ対策基金	100,000	公益財団法人 佐賀未来創造基金
	さが・こども未来応援基金 助成金	200,000	公益財団法人 佐賀未来創造基金
	寄附金	100,000	国際ソロプチミスト佐賀西部
	収入 計	7,756,680	
支 出	謝金	2,654,000	
	旅費	381,926	ガソリン代・出張費
	印刷製本費	297,519	
	消耗品費	145,665	事務用品
	備品	200,000	PC・ストレージ
	通信費	99,810	携帯電話(個別相談用)・切手・ネット
	賃借料	360,000	30000×12 借家(久保田)
	委託費	21,000	HP サーバー
	施設管理費	600,000	50000×12 事務所
	保険料	129,760	自賠償保険
	返礼品等の調達に係る費用	1,903,882	
	返礼品等の送付に係る費用	303,850	
	広報に係る費用	93,074	写真撮影・facebook 広告・チラシ
	事務に係る費用	566,194	人件費・切手・事務用品
支出 計	7,756,680		

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。